

令和4年度 福井県立坂井高等学校 スクールポリシー

スクール・ミッション【使命】

地域産業の人材育成の核となる専門高校として、自ら課題を発見し、周囲と協力しながら解決できる人材育成を実現し、地域社会への貢献を目指す。そのために社会に出てから生活の基礎となる一般教養と基礎学力、仕事に役立つ専門的知識、協働するために必要なコミュニケーション力を付け、地域産業界や地域住民の方々等の支援と協力を得て、デジタル新時代に即応した人材育成システムの構築を目指す。

- 校訓**
- 【自主】 自ら考え、正しく判断し、主体的に行動できる態度を育成する。
 - 【協働】 互いの能力や特性を尊重し、ともに高め合う態度を育成する。
 - 【創造】 習得した知識技術を活かして、新たな価値を作り出すことが出来る能力を育成する。

- 教育目標**
1. 専門的な知識・技術の習得に努め、望ましい勤労観・職業観を育て、進路意識の高揚を図る。
 2. 様々な教育活動をとおして、ともに高め合う態度を育成し、思いやりと友愛に満ちた感性を養う。
 3. 実践的な学習をとおして、地域社会に貢献できる創造性豊かでたくましい人材を育成する。

グラデュエーション・ポリシー【育成を目指す資質・能力に関する方針】

自ら学び、課題に向き合う姿勢や粘り強く解決に取り組む態度を育てる。
基礎・基本を重視し、継続的な学びや取り組みによる達成感を得ることで、自分自身を肯定的に捉えられる人材を育てる。
各コースの専門（食料生産、食品の加工や流通、機械、自動車、電気、電子、化学、情報、ビジネス、家庭の生活）に関する知識と技術を習得させ、各専門分野や地域社会に貢献するために必要な能力と実践的な態度を育てる。
地域産業をはじめ経済社会の健全で持続的な発展を担い、今後のデジタル情報社会に対応できる資質・能力を育成する。

カリキュラム・ポリシー【特色ある教育課程】

- 【全コース共通】 文部科学省マイスター・ハイスクール事業を活用し、地域社会を支え地域産業の発展を担う次世代産業人材を育成するため、1年次に学校設定教科「ふくいの産業」を履修する。オンライン講座等を活用し、各学科の関連分野を超えた幅広い地域産業への理解を深める。また、DX等により急速に変化する社会での人材として必要な資質能力や学びに向かう力等を養うため、産業界・大学の専門家による実習や指導機会を設定する。1・2年次に、最先端技術を有する企業での実習や見学、企業講師による関連産業の現状や最先端技術に関する指導を受ける機会を設定する。
- 【農業コース】 食料生産に関する知識と技術を習得し、農業関連産業に従事する者として必要な能力と実践的な態度を身に付けるために実験や実習を重視し、新しい技術や設備を有効に活用して、栽培技術を実践的に学ぶ。
- 【食品コース】 食品の加工や流通に関する知識と技術を習得し、自ら学び主体的かつ協働的に取り組む態度を養い、地域や社会の持続的な発展に貢献できる資質と能力を身に付けるために、実践的・体験的な学習活動を重視し、安心・安全な農産物の生産・加工・販売について幅広く学ぶ。
- 【機械コース】 機械に関する知識と技術を習得し、ものづくりを通して主体性や創造性、仲間との協調性を伸ばし、地域を担う人材を育成するために、ものづくりの「実習」を重視し、機械に関する基礎的な知識を身に付け、新しい技術を体験し、実践的に学ぶ。
- 【自動車コース】 自動車整備に関する知識と技術を習得し、自動車関連産業に従事する者として必要な能力と実践的な態度を身に付けるために、実習を重視し、新しい技術や設備を有効に活用して、自動車に関する専門知識・技術を学ぶ。
- 【電気コース】 電気に関する知識と技術を習得し、電気関連産業における地域や社会の健全で持続的な発展を担う職業人として必要な資質と能力を身に付けるために、電気の基礎・基本的な知識と技術を主体的で体験的な学習を通して学ぶ。
- 【情報システムコース】 情報システムに関する知識と技術を習得し、情報システム関連産業に従事する者として必要な能力と実践的な態度を身に付けるために、実践的・体験的な学習活動を重視し、情報・電気・電子・機械に関する基礎的、基本的な知識や技能から高度情報化時代及び産業界の技術革新に対応した技能を学ぶ。
- 【ビジネスコース】 ビジネスに関する知識と技術を習得し、地域産業をはじめ経済社会の健全で持続的な発展を担う職業人として必要な資質・能力を身に付けるために、商業の各分野の知識や会計処理の知識を学ぶとともに、ビジネスに関する課題を解決できるように主体的かつ協働的な体験を通じて学ぶ。
- 【生活デザインコース】 家庭科に関する知識と技術を習得し、生活産業で活躍できる人材として必要な能力と実践的な態度を身に付けるために、知識と技術を関連付けて学ぶことができるように実験・実習を重視し、家庭科の中でも食生活・衣生活・保育を重点的に学ぶ。

アドミッション・ポリシー【入学時に期待される生徒像】

- 1 専門教科に興味があり、自己実現に向けて主体的に学習に取り組む生徒
- 2 実践的な授業で身に付けた専門知識と技術を活かし、地域社会に貢献したい生徒
- 3 多様な学びや考え方に触れ、新たな価値の創造に挑戦したい生徒
- 4 部活動や学校行事等に積極的に参加し、仲間とともに自らを成長させたい生徒